

英語科学習指導案

日時：令和元年 10 月 24 日（木） 5 校時

学級：2 年 6 組 男子 19 名 女子 18 名 計 37 名

授業者：松田 千草

ALT：ロベルト・モレスコ

1 単元 Unit6 Rakugo in English NEW HORIZON English Course 2（東京書籍）

2 単元目標

- ・ **there is/are**、動名詞を用いた文の構造を理解し、それらを用いた英文を読み取ろうとする。

【知識及び技能】

- ・ まとまりのある英文の中から自分に必要な情報を読み取れるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・ 多様な人々や文化に関心を持ち、身近で社会的な題材について読みとろうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

(1) 教材観

新学習指導要領が示す外国語科の目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え等を理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とある。本単元では、(2) に示す「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。」という目標に向かう。特に読むことの領域 ア「日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする」について扱う。

言語材料としては **there is/are**、動名詞を取り上げ、それらを用いた英文から国々や地域の特性等を読み取る。生徒にとって身近で関心のあるオリンピックを題材にとり、開催国である日本や多くの参加国についてまとまりのある英文の中から自分に必要な情報を読み取れるようにする。

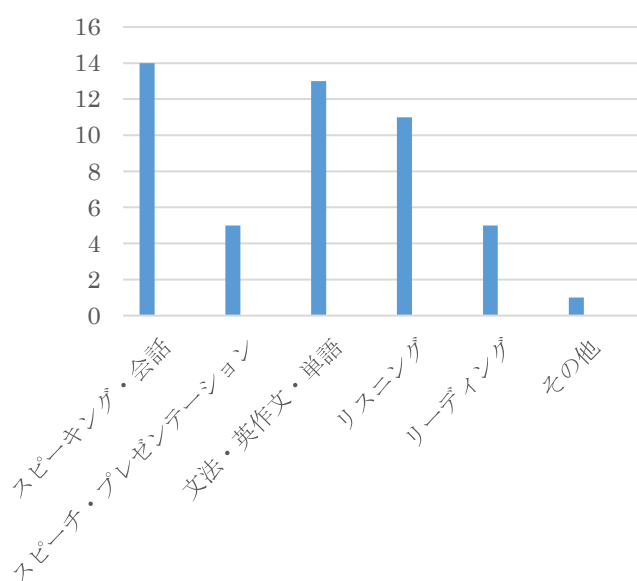
本単元は、日本の伝統芸能である落語を取り上げ、ポスターやパンフレットで紹介している教材である。物語や説明文等から概要や要点を読み取る単元とは異なり、多くの情報の中から自分の必要とすることを読み取る内容となっている。オリンピックという国際的な題材につなげることで、日本の文化だけでなく、多様な人々や文化に関心を持ち、主体的に学習に取り組む姿をゴールとしたい。

(2) 生徒観

事前に行った英語の学習に関するアンケートでは、**89%**の生徒が英語を学習する必要性を感じているが、**78%**が「得意ではない・苦手だ」と回答している。その中で特に苦手としているものとして「読むこと」を挙げる生徒が**37%**と最も多かった。6月に行われた英検**IBA**（リーディング・リスニング版）の結果、学年の平均正答率がリスニング分野**49.2%**、語彙・熟語・文法分野**47%**の中、読解分野が**35.7%**と著しく低かった。読解問題への苦手意識を改善するため、2学期からは帯活動で**short reading**や**read & listen**を取り入れ、まとまりのある英文に慣れる活動を行ってきた。そのためそれらの活動の中では**5**文程度の英文は嫌がらず読めるようになってきた。しかし「読むこと」についての課題として、明確な目的意識を持って取り組んでいるとは言いがたく、学習に対しては受容的な姿勢である。そこで様々な場面を与え、自らがどんな情報を必要としているのかを考え、生徒が主体的に目的意識を持って読む活動に取り組む姿勢を目指したい。

4月に3学年対象に行われた全国学力調査において、各領域で本校は沖縄県平均を下回ったが、「読むこと」の領域では正答率全国平均**55.6%**、県**50.4%**、本校**44.4%**とその差が最も顕著であった。その現状を本校の課題と踏まえ、2学年としては「読むこと」への意識を高めていきたい。

英語の学習で好きなこと



英語の授業での困り感（生徒コメント）

「英語の授業の中で特に苦手なのはどんなことですか」

- ・読めないとき、何も分からないとき。
- ・長い文を読むこと。
- ・英語だけの文を読まないといけない。
- ・長い文章問題。
- ・書くこと。読み取り。

(3) 指導観

本単元では、「必要な情報を読み取ることができる」ことを目指す。生徒観で示したように、読む活動に苦手意識を持っている生徒にとって、長文を読み通すことに課題がある。既習事項を活用する中で文脈を推測し、まとまりのある文章を読み通す力を身に付けさせたい。その際、文章全てを理解するのではなく、自分が求める情報が読み取れることを目標とし、ポスターなど比較的単純な教材から導入し、長文へとステップを踏むことで、自らの力で読めるという自信を持たせ、読むことへの意欲に繋げたい。

単元のまとめとなる9時間目には、まとまりのある英文から必要な情報を読み取ってポスターを作成する活動、10時間目には、ポスターやパンフレットから必要な情報を読み取り聞き手に伝え

るというパフォーマンステストを行う。それらを視野に、生徒の学習課題への対応として以下の点について工夫しながら指導にあたる。

- ①単元の最初に、単元目標とその評価方法について確認し、見通しを持たせる。
- ②場面を与え、「読むこと」に目的意識を持って取り組めるようにする。
- ③読む活動では複数の資料の中から読みたい資料を選択させ、読むことに意欲を持たせる。
- ④読み取った内容を伝えることができるよう帯活動では **small talk** と **short reading** を行う。
- ⑤「読むこと」への関心を高める工夫として、生徒にとって身近な題材を取りあげる。

Can-Do リストの学習到達目標

3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。 ・簡単な語を用いて書かれた人物描写、場面の説明、日常生活や文化の紹介などの説明文を理解することができる。 ・簡単な英語で表現されたり、実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探すことができる。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ・簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に簡単な文章を読み、理解することができる。 ・簡単な語を用いて書かれた興味あるトピックに関する文章を、イラストや写真を参考にしながら理解することができる。
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 ・日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。 ・簡単な文章のあらすじや大切な部分を読み取ることができる。

(4) 校内研との関わり

本校校内研修テーマは、「主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善～各教科における『問い』が生まれる授業づくりを通して～」を掲げ、各教科における授業改善を通して、生徒が自主的に学ぶことを目標としている。

校内研修テーマを踏まえ、英語科は「生きて働く英語力の育成～問いを持ち、対話的で深い学びを育む授業の工夫改善を通して～」をテーマとしている。そのテーマに迫る手立てとして、他者との関わりの中で生徒同士の双方向のやり取りを重視した言語活動を通し、仲間と協力し合いながら課題解決に取り組む姿を期待したい。学習者である生徒自身が学ぶことの意味を捉え、生涯に渡って自ら考え判断できる資質・能力を身に付け、よりよい人間形成に繋げられるよう取り組んでいる。

4 単元の評価基準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
多様な人々や文化に関心 を持ち、身近で社会的な題 材について読み取ろうと する。	/	まとまりのある英 文の中から、自分が 必要な情報を読み 取れる。	There is / are や動名詞 を用いた文の構造を理 解している。

5 単元計画

時 間	ねらい・主な学習内容	単元の 評価基準	評価方法 PTに向けた取り組み
1	<ul style="list-style-type: none"> ●ポスターから必要な情報を読み取れる。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る ・パフォーマンステストについて伝える ・本文(6-1)から必要な情報を読み取る ・ポスターから必要な情報を読み取る活動 ・活動から there is[are]～の表現に気付く 	ア	<ul style="list-style-type: none"> ・PTについて知らせる (内容・評価) ・帯活動 (small talk) ・活動観察
2	<ul style="list-style-type: none"> ●会話文から落語の特徴を読み取れる。 ・帯活動 ・本文(6-2)から必要な情報を読み取る ・ there is[are]～の文構造を理解する ・ Unit6-5 activity 	エ	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動(short reading) ・後日ペーパーテスト で評価
3	<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピック各競技が開催される場所や周辺の観光地 について読み取る。 ・帯活動 ・オリンピック競技会場のパンフレットから、どこで何の 競技が行われているのか読み取る。 ・動名詞の表現に気付く。 	ウ エ	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk) ・ワークシート ・後日ペーパーテスト で評価
4	<ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットから落語の情報を読み取る ・帯活動 ・本文(6-3)内容理解 	ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk & short reading) ・ワークシート
5	<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピック参加国や競技について読み取り、オリンピ ック地図を作成する。 ・帯活動 ・オリンピック参加国や競技について読み取り、オリンピ ック地図を作成する。 	ア	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk & short reading) ・活動観察

6 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> ●英文から競技の特色を読み取る。 ・帯活動 ・競技を説明する英文を読み取り、何の競技か推測する 	ア ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk & short reading) ・活動観察 ・後日パフォーマンステストで評価
7	<ul style="list-style-type: none"> ●英語落語に親しむ。 ・帯活動 ・英語落語を視聴する ・Unit 6-5 リスニング 	ア	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk & short reading) ・活動観察
8	<ul style="list-style-type: none"> ●英語落語を読み取りオチを考える。 ・帯活動 ・本文内容理解 ・落語のオチを考える 	ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk & short reading) ・ワークシート
9	<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピックの歴史を読み取りポスターを作る。 ・帯活動 ・パンフレットから必要な情報を読み取りポスターを書く 	ア ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 (small talk & short reading) ・ポスター ※必要な情報が読み取れているかを評価
10	<ul style="list-style-type: none"> ●パフォーマンステスト ・パフォーマンステストの実施 	ウ	パフォーマンステスト

6 観点別評価の進め方

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度

<p>(1) 評価方法：活動の観察</p> <p>(2) 評価の決定：「おおむね満足できる」(B)</p> <p>⇒ (必要事項を全て読み取ることはできないが) 自ら読み取ろうとする態度・意欲が見られる。</p> <p>(3) 「努力を要する状況」(C) と判断した生徒への手立て</p> <p>⇒ 間違いを恐れず取り組むことを伝え、再度意欲的に取り組めるよう個別に支援をする。</p>

ウ 外国語理解の能力

<p>(1) 評価方法：パフォーマンステスト</p> <p>(2) 評価の決定：「おおむね満足できる」(B)</p> <p>⇒ 必要な情報が正しく読み取れ、単語や語句で答えることができる。</p> <p>(3) 「努力を要する状況」(C) と判断した生徒への手立て</p> <p>⇒ 読み取るポイントを再度明確に伝え、意欲を維持しながら取り組めるよう個別に支援する。</p>

パフォーマンステストの実施について

内容 オリンピックの選手団について書かれた英文を読み取る。

方法 インタビュー形式。

オリンピック選手団について書かれた初見の英文を読み、提示された情報について教師・ALTに伝える。

- ・何の競技についてか。
- ・彼らの大会はいつ、どこで行われるか。
- ・彼らが楽しみにしていることは。

エ 言語や文化についての知識・理解

- | |
|--|
| <p>(1) 評価方法：定期テスト</p> <p>(2) 評価の決定：「おおむね満足できる」(B)
⇒ there is [are]、動名詞を用いた文を読み理解できる。</p> <p>(3) 「努力を要する状況」(C) と判断した生徒への手立て
⇒ 言語材料について再度指導し、個別に支援する。</p> |
|--|

7 本時の学習【6/10時間】

(1) 本時の目標

・(Today's aim) 何の競技か分かる？競技の特徴を読み取ろう。

(2) 本時の評価基準

ア 多様な人々や文化に関心を持ち、身近で社会的な題材について読み取ろうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

ウ まとまりのある英文の中から、自分が必要な情報を読み取れる。【外国語理解の能力】


(3) 本時の展開

過程	学習内容 (活動)	指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 単元の評価基準 評価方法 生徒指導3つのポイント
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Greeting & Small talk ○帯活動 Short reading ○Review ○Today's Aim <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 何の競技か分かる? 競技の特徴を読み取ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○オリンピックに関する内容を ALT に話してもらい、teacher's talk⇒model talk⇒small talk とつなげる。 ○帯活動では PT を意識させる。 ○review では前時までの学習を地図で振り返る。 ○check sheet にめあてを記入させ、学習の見通しを持たせる。 	共感的な雰囲気
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Reading activity <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①ある競技についての英文を読み、何の競技なのかを推測する。《個人》 ②グループで更に読み理解を深める。 ③推察した内容を全体で確認する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動の説明をする。(時間配分・活動形態) ○推測した根拠の部分に下線を引かせる。 ○グループで協力するよう声掛け、机間指導。 ○余裕のあるグループには追加課題を与える。 ○全体確認の際は数名の生徒に解説させる。 	ア【活動観察】 ウ【活動観察】 自己存在感 共感的な雰囲気 自己決定
終末 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Evaluation 	<ul style="list-style-type: none"> ○Today's aim や単元の目標を振り返り、読み取る活動にどのように取り組めるようになったか、何に困難を感じているか記入させる。 	自己決定

8 板書計画

Thursday, September 24th, 2019

Today's Aim: 何の競技か分かる? 競技の特徴を読み取ろう。

<ul style="list-style-type: none"> ①Greeting & Small Talk ②Short Reading ③Reading (by yourself) ④Reading (Group) ④Share ⑤Evaluate 	map 	Picture A	Picture B	Picture C	Picture D
		Picture E	Picture F	Picture G	

【参考文献・資料等】

- 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語編 文部科学省、平成 29 年 7 月
- 平成 31 年度版「問い」がうまれる授業サポートガイド 沖縄県教育委員会 平成 31 年 3 月
- TOKYO 2020（最終閲覧日：令和元年 10 月 15 日）<https://tokyo2020.org/jp/>
- 東京オリンピック・パラリンピック準備局（最終閲覧日：令和元年 10 月 15 日）
<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/>
- 笹川スポーツ財団スポーツ辞典（最終閲覧日：令和元年 10 月 15 日）
<https://www.ssf.or.jp/dictionary/tabid/884/Default.aspx>